

「新しい東北」官民連携推進協議会

令和元年度
岩手県意見交換会(第1回)

事務局提出資料

「新しい東北」官民連携推進協議会事務局
2019年6月27日

● 目次

1. 今年度の意見交換会の方向性
2. 過去の意見交換会
3. 今年度の意見交換会の進め方
4. 議論のテーマ案
5. テーマに関する詳細検討事項

【参考】宮城県のテーマ案

【参考】福島県のテーマ案

● 1. 今年度の意見交換会の方向性

本協議会では意見交換会を、復興庁と会員団体等（主に副代表団体）が活動情報を互いに共有し、地域の課題解決に向けて協議・協働を生み出す場と位置付けています。

今年度は特に、副代表団体以外の会員団体の巻き込み・議論の活性化・団体の活動につながる成果創出に注力します。

意見交換会の目的	意見交換会の取組に対するご意見 ^{*1}
復興庁と会員団体等（主に副代表団体）が活動情報を共有し合うとともに、地域の課題解決に向けた、多様な主体による協議・協働を生み出すこと	<ul style="list-style-type: none">民間のパワーを巻き込み、関連するものを具体的なテーマとして扱えると良いアイディアだけでなく具体的なアクションに繋げたい地域でチャレンジをしている人を、各会員の持つ支援メニューを活用してサポートするスキームが必要地域振興に携わる方等にも関与してもらえると良い

実施上のポイント

会員団体の巻き込み
(横の連携)

議論のさらなる活性化

団体の活動につながる
成果の創出

令和元年度 意見交換会の方向性

- ✓ テーマに関する会員団体（「連携対象団体」）に意見交換会へ参加してもらい、地域課題解決に向けた議論や「実践の場」の企画に共同で取り組む。
- ✓ 参加団体^{*2}や連携対象団体の活動をより深め・広げるための活動を「実践」と定義し、意見交換会の成果として自立的・継続的な「実践」を生み出す。

*1: 3県の第3回意見交換会内の発言を一部引用

*2: 副代表団体およびオブザーバーとして参加いただく団体

● 2. 過去の意見交換会

過去2年間の意見交換会では「関係人口」をテーマの軸に議論を展開。

今年度以降に向けては、地方創生への繋ぎや、創業支援、ソーシャルな活動に対する支援スキームの確立、沿岸部・内陸部の繋がり促進などがテーマ案として挙がっておりました。

平成29年度

関係人口の増加

第1回

- 趣旨説明
- 活動紹介

第2回

- 活動紹介
- テーマ議論

第3回

- 活動紹介
- テーマ議論

第4回

- 活動紹介
- 調査内容の検討

• ラグビーワールドカップ釜石開催PR
• 「岩手三陸地域における関係人口の増加に向けた調査」

第5回

- 活動紹介
- 調査結果を議論
- 来年度テーマの検討

平成30年度

関係人口増加から生まれる価値と、 関わりを生むためのプロセス

第1回

- 趣旨説明
- 活動紹介
- 当年度のテーマの検討

第2回

- 活動紹介
- テーマ議論
- イベント内容の検討

「関係人口×〇〇で考える三陸の未来」
ブースセッションとパネルディスカッション
によって、複数の切り口から、関係人口増加
の価値や関わりを生む仕掛けづくりを紹介。

第3回

- 活動紹介
- イベントの振り返り
- 来年度以降のテーマ案検討

今年度以降のテーマ案

- 復興から地方創生への繋ぎ
(例：創業支援)
- ソーシャルな活動に対する
支援スキームの確立
- 沿岸部と内陸部の繋がり促進

● 3. 今年度の意見交換会の進め方

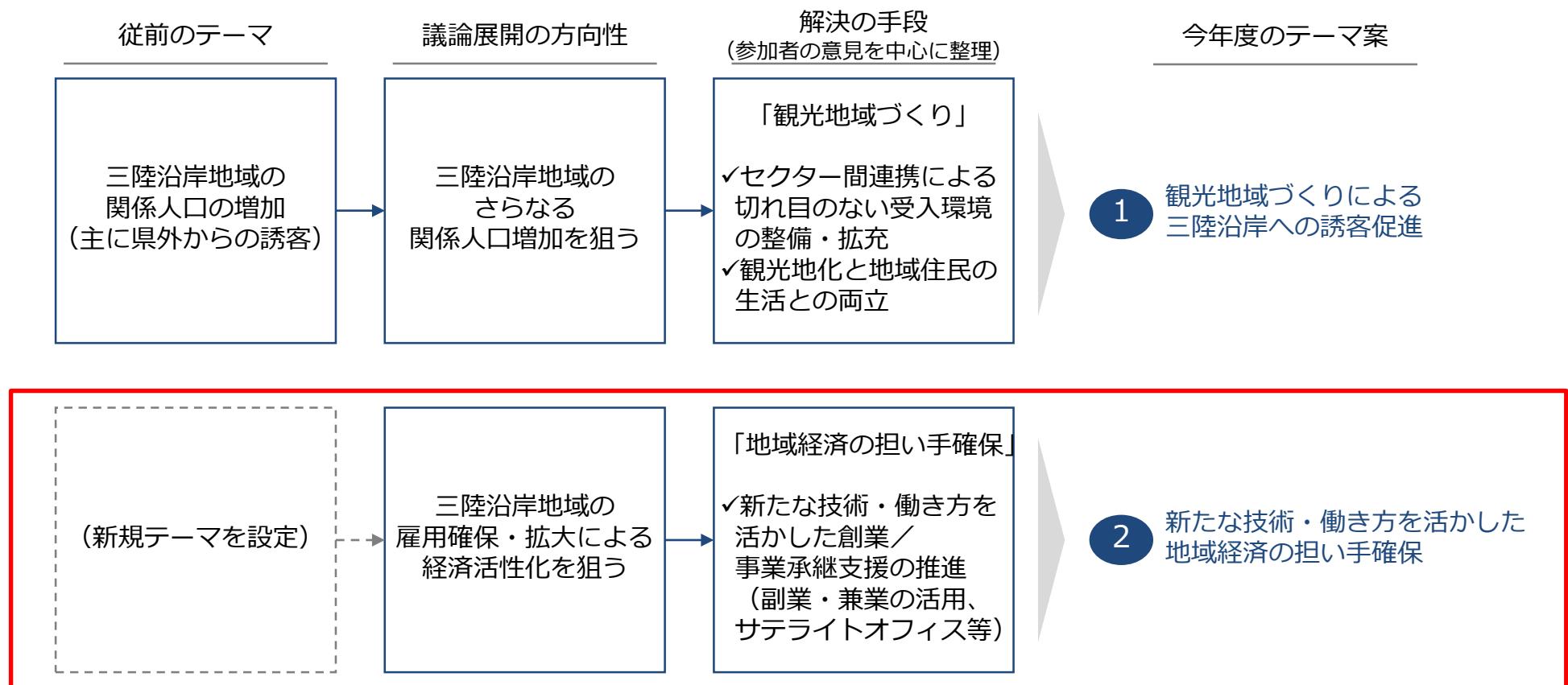
昨年度同様、全3回の意見交換会と「実践の場」を開催予定です。

テーマに関わりの深い「連携対象団体」に第2回の議論から参画いただくことで、地域でチャレンジしている人を巻き込んだ「実践の場」の企画や、「実践」の継続を目指します。

	実施事項（案）	取り組みのポイント
第1回	<ol style="list-style-type: none">意見交換会の趣旨、過去経緯（他県含む）の説明今年度の方針説明参加団体の今年度活動内容の紹介今年度テーマの検討（連携対象団体の検討含む）	<ul style="list-style-type: none">✓ テーマを決定するとともに、第2回以降から参画してもらう連携対象団体についても議論する
第2回	<ol style="list-style-type: none">参加団体の活動紹介連携対象団体によるプレゼンテーション等テーマ議論「実践の場」の内容検討（連携対象団体を企画時から巻き込む）	<ul style="list-style-type: none">✓ 連携対象団体より、現在の活動内容やテーマに対する問題意識・展望などについて共有してもらう✓ 上記を踏まえて、地域でチャレンジをしている人を巻き込んだ「実践の場」や連携の在り方を議論する
	「実践の場」の詳細設計～開催～結果整理	<ul style="list-style-type: none">✓ 会員団体の生業（活動）を深化・拡大させることや、継続的なアクションに繋げることを目的とする
第3回	<ol style="list-style-type: none">参加団体の活動紹介「実践の場」の振り返り、今後の展望の議論来年度以降のテーマ案の検討	<ul style="list-style-type: none">✓ 「実践の場」の振り返りに加え、今後の活動や体制を、自立的に継続させるための議論を行う
	「実践」の継続	<ul style="list-style-type: none">✓ 今年度の意見交換会終了後も、「実践」を継続する

● 4. 議論のテーマ案

事前に各参加団体から頂いたご意見を踏まえ、今年度は案②「新たな技術・働き方を活かした地域経済の担い手確保」に沿って検討したいと考えております。

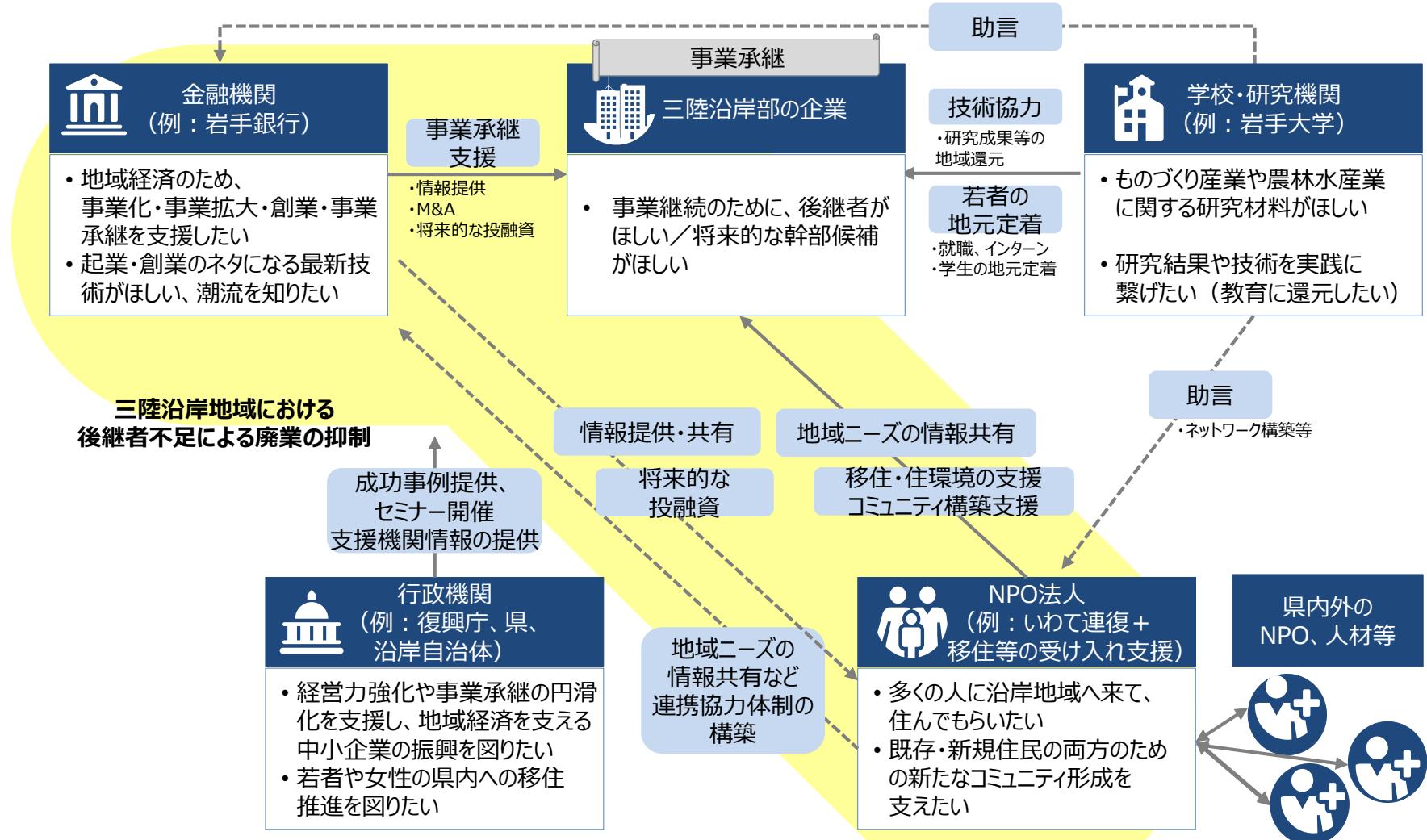


● 5. テーマに関する詳細検討事項

「新たな技術・働き方を活かした地域経済の担い手確保」に向けて具体的な議論ができるよう、テーマのさらなる深掘りや連携対象団体の候補についてご意見を頂きたく存じます。

検討事項	検討のポイント
テーマの絞り込み	<p>「新たな技術・働き方を活かした地域経済の担い手確保」をベースにしながら、より具体的に議論するために、どこに焦点を当てるべきか？</p> <p>＜例＞</p> <ul style="list-style-type: none">・ 担い手（人材） = 経営層／経営候補／労働者…いずれの層に重点を置くか・ 対象事業 = 既存事業（事業承継）／新規事業（起業・創業）…どちらを対象とするか・ 人材確保の方法 = 県内で／県外から、採用／育成…どの方法を取るか
連携対象団体	連携の実現・充実に向けて、必要な情報・リソースなどをもつ団体はどこか？
「実践の場」	「実践の場」の目的をどこに置き、何を実施するのか？
成果 (アウトプット)	意見交換会および「実践の場」の成果として何を、どこまで目指すか？ ＜例＞連携体制の構築／連携した活動の開始／活動事例の創出…

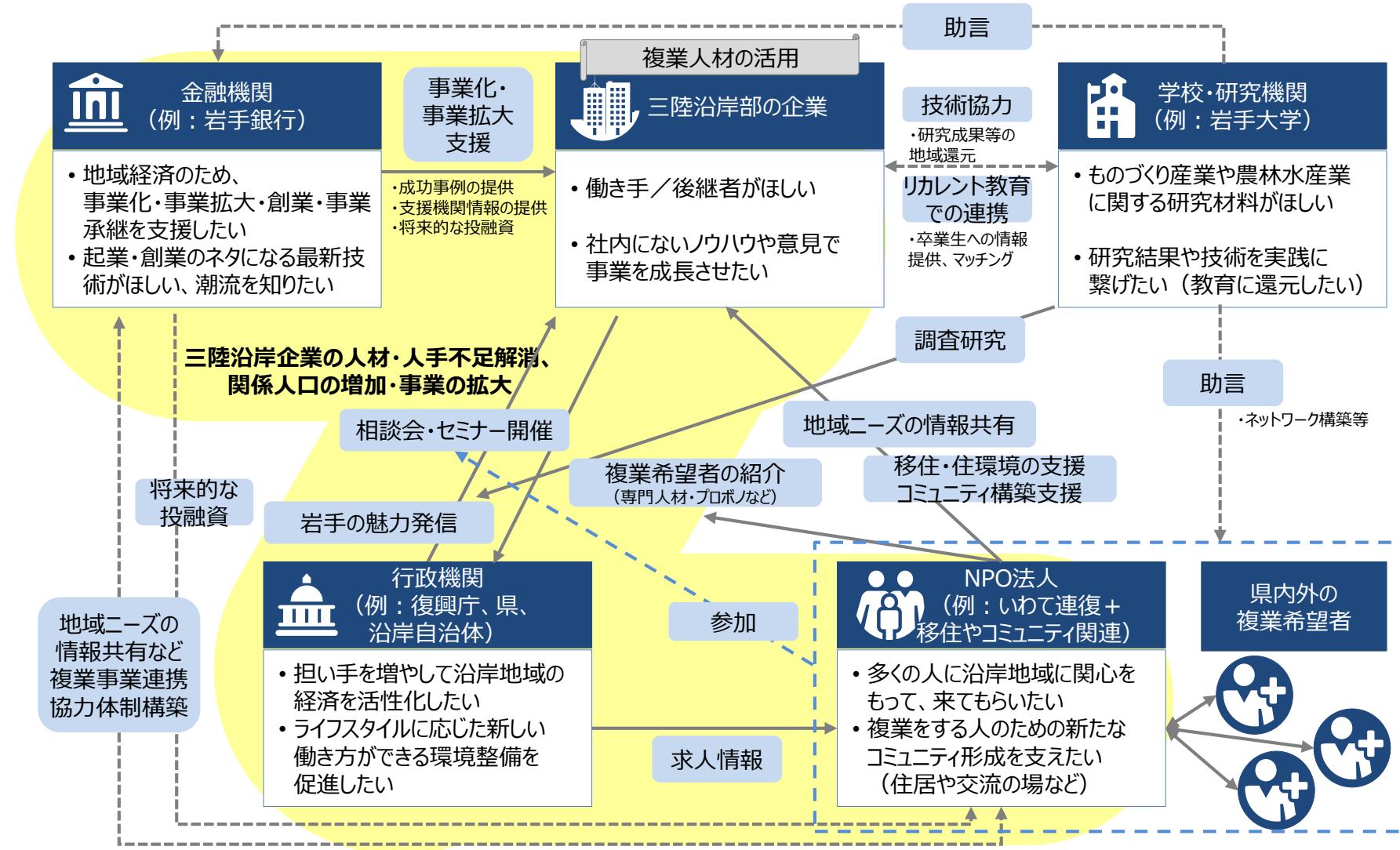
● 【参考】マルチセクター連携のイメージ – 事業承継



(イメージ)

連携対象団体	三陸沿岸部の企業・金融機関・自治体、移住・インターン・プロボノ等の受け入れ支援を行うNPO、地場産業の経営や組織を学ぶ学生、商工会など。
「実践の場」	後継者問題に悩む企業と、 起業、事業承継などを考えている企業、団体、若者等とのマッチング を行う。
成果（アウトプット）	年度末までに、 事業承継に向けたマッチング1件以上 。それを通じた事業承継に資するセクター間の連携の形の具体化。

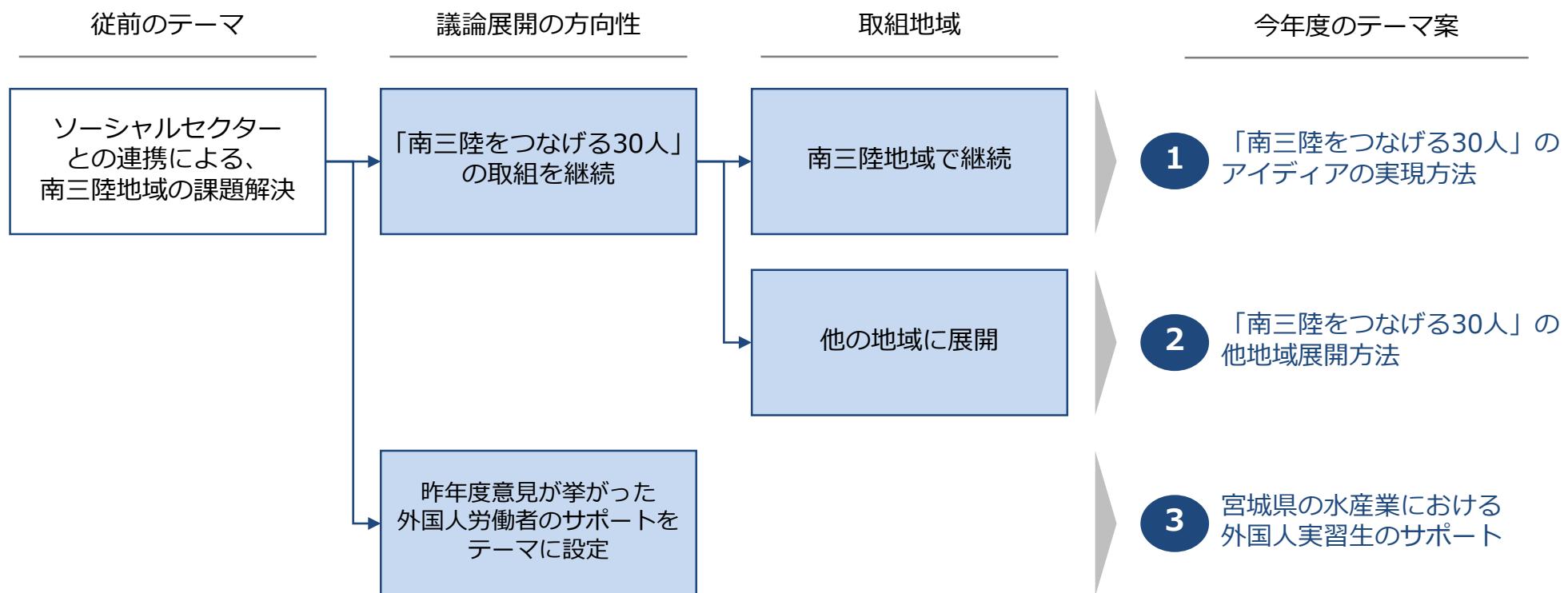
● 【参考】マルチセクター連携のイメージ – 複業（副業・兼業）



連携対象団体	三陸沿岸部の企業・金融機関・自治体、移住・コミュニティ関連のNPO、地場産業の経営や組織を学ぶ学生、商工会 など。
「実践の場」	複業の受け入れが盛んな県内外の自治体・企業などを招き、副業、兼業を求めている事業者に対し、相談会、セミナーを実施し、連携体制を構築する。
成果（アウトプット）	年度末までに、副業・兼業の具体的な事例を1件以上。それを通じた複業に資するセクター間の連携の形の具体化。

● 【参考】宮城県のテーマ案

宮城県では、昨年度実施した「南三陸をつなげる30人」の取組を発展させるか、もしくは別テーマを設定する予定です。



● 【参考】福島県のテーマ案

福島県では、今年度も「福島県での暮らし方・働き方に関する理解促進（魅力付け）」をテーマに据え置き、議論する予定です。

